

# コンピュータを用いた教材開発の基礎研究

## ～教育工学研究と職業能力開発～

研究担当者

職業訓練研究センター 北垣郁雄

## 序 文

情報化社会が進展する今日、職業能力開発においてコンピュータの実践的援用を試みることは、その刷新を図るうえで重要なことである。当該の学習において、コンピュータに学習進行の主導権を持たせるのか、それとも指導者の補佐的役割を与えるのか、その活用モードは様々であろうが、所望の教材を既存のソフトウェア技術の枠組の下にコンピュータ上に移植することは、コンピュータ援用教育を試行するにあたっての基本的作業の一つといえる。

この報告書では、その教材開発という視点から、関連のソフトウェア技術、教材の移植にかかわる諸問題を取りあげるほか、職業能力開発と教育工学研究との概念的対応を示唆している。

この報告書が、今後、適切なコンピュータ援用学習を推進するための参考資料になれば幸いである。あわせて、読者諸兄の暖いご批判・ご助力を希望するものである。

昭和62年3月

職業訓練研究センター  
所長 多賀谷敏夫

## 謝 辞

この報告書の作成にあたっては、職業訓練研究センター多賀谷敏夫所長、同基礎研究部泉輝孝部長、同訓練適応研究室戸田勝也室長、同開発研究第一部電気・化学系訓練研究室武藤栄室長をはじめ職業能力開発CAI研究会の方々から有益なご助言をいただいた。ここに、感謝の意を表したい。

訓研調査研究資料

第78号

コンピュータを用いた教材開発の基礎研究  
～教育工学研究と職業能力開発～

発行 1987年3月

発行者 職業訓練研究センター  
所長 多賀谷 敏夫  
〒229 神奈川県相模原市相原1960  
電話 0427-61-9911 (代)

印刷 (株) ワーク1  
相模原市中央2-8-9  
電話 0427-58-6091